



BOXSCORE

【ボックススコア】

開催日: 2017/6/4

開始時間/終了時間: 13:20 TIP OFF /

会場: 東京体育館 Cコート

主審: 小澤 勤
副審: 渡邊 諭、菊地真吾

船橋市立船橋高等学校(千葉)	94	21 -1st- 17 30 -2nd- 16 18 -3rd- 25 25 -4th- 12	70	正智深谷高等学校(埼玉)
----------------	----	--	----	--------------

船橋市立船橋高等学校(千葉)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
4	*	保泉 遼(CAP)	29	6	18	5	9	1	2	0	1	4	5	3	4	3	0	40:00
5	*	庄司 理宇	16	1	2	6	6	1	1	2	2	1	3	3	0	1	1	38:51
6	*	薬丸 侑平	19	3	4	4	11	2	2	1	0	5	5	3	1	2	0	34:22
7	*	野崎 由之	25	5	18	4	10	2	2	3	3	5	8	1	2	2	0	39:40
8		後藤 恵梧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05:02
9		前田 悟司																DNP
10		星野 怜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:20
11		廣瀬 圭右																DNP
12		市場 遥樹																DNP
13		大澤 響生																DNP
14	*	兼重 ハトリック	3	0	0	1	4	1	2	3	0	7	7	1	2	1	1	39:24
15		楊 博																DNP
16		谷戸 裕太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01:45
17		碓氷 真吾																DNP
18		永野 雄大	2	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	00:36
		TEAM SCORE	0			0	0			0	3	9	12	0				
		合計	94	15	42	20	40	9	11	9	9	32	41	11	9	9	2	200:00
				35.7%		50.0%		81.8%										

正智深谷高等学校(埼玉)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
4	*	常田 耕平(CAP)	9	1	12	2	6	2	2	4	1	4	5	3	1	0	0	32:35
5	*	川口 颯太	10	2	13	2	3	0	0	1	2	7	9	2	0	5	0	40:00
6	*	増田 英寿	15	0	0	6	18	3	3	1	5	6	11	0	1	0	0	40:00
7	*	中村 吏	6	0	0	2	6	2	2	2	1	4	5	3	0	1	1	35:50
8		山口 大成	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	00:30
9		渡部 琉	13	2	4	3	6	1	1	1	2	1	3	3	0	1	0	17:21
10	*	勝山 大輝	17	3	7	4	8	0	0	2	3	4	7	1	0	0	0	33:44
11		渡邊 圭梧																DNP
12		小山 悠																DNP
13		糸川 太一																DNP
14		國分 大雅																DNP
15		松本 大輝																DNP
16		石橋 柊																DNP
17		草野 颯斗																DNP
18		佐藤 雷人																DNP
		TEAM SCORE	0			0	0			0	3	1	4	0				
		合計	70	8	37	19	47	8	8	12	17	27	44	12	2	7	1	200:00
				21.6%		40.4%		100.0%										

PTS: ポイント
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FG: フィールドゴール

M: 成功
A: 試投
FT: フリースロー
F: ファウル

OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド
TR: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー

AS: アシスト
ST: スチール
BS: ブロックショット
MIN: 出場時間(分)

S: スターター
%: シュート率
OT: 延長

今年度の関東大会決勝の舞台に勝ち上がったのは、千葉県代表の市立船橋と埼玉県代表の正智深谷。関東を代表する強豪校は、お互いの持ち味を発揮して決勝戦まで駒を進めてきた。昨年度も同一カードの対決は市立船橋に軍配が上がったが、今年ほどのような展開になるか。東京体育館の観客席を埋める多くのバスケットファンも見応えのあるゲームを期待している。

両チーム不動のスターティングメンバーでマンツーマンディフェンスのスタート。市立船橋は#4、#7の両エースがゲームを組み立てながらドライブ、3Pと加算。対する正智深谷は#10がゴール下で踏み張り追いかける。先にリズムを掴んだのは市立船橋。ディフェンスリバウンドを確実に拾い速攻につなげて13-8。その後もエンドスローインから#4が3Pを決め16-8とリードする。対する正智深谷も積極的なアウトサイドシュートから#4がペネトレイトで16-10とする。お互いボールに対して激しいディフェンスを見せる中で#4、#7が攻撃の起点となる市立船橋は、要所で#7が3Pを沈める。一方正智深谷も#6のミドル、#9が3Pとお互いに譲らず21-17市立船橋リード。

第2ピリオド両エースに激しくマッチアップする正智深谷だが、巧みなパスワークでディフェンスに的を絞らせない市立船橋は、ディフェンスの隙をついて#7がまたしても3Pやペネトレイトを決め26-17。追いつきたい正智深谷もお返しに#4がファウルをもらい26-19と両チーム一歩も引かない。残り5分56秒シュートが落ち始めた正智深谷に対して市立船橋はノーマークを見つけシュートを放ち、そのこぼれ球を確実に得点につなげて35-24としたところで正智深谷タイムアウト。その後もリズムよくパスを決め残り4分02秒79-68、正智深谷タイムアウト。2-2ゾーンプレスから2-3ゾーンにした正智深谷だが、市立船橋も慌てない。#4がこの日6本目となる3Pを決め突き放すと、ここから#5、#7が続いて3Pを決めゲームを決定づける。#4を戻しマンツーマンに戻した正智深谷だったが、最後は市立船橋のシュート力に力尽き94-70で市立船橋が関東大会二連覇を果たした。

第3ピリオド、相手のミスからスタートした正智深谷が51-37。タイムアウトで立て直す市立船橋に対して、インサイドにボールを入れながら攻撃を仕掛ける正智深谷が54-44と追い上げる。両チームシュートの確率が再び上がる中、特に市立船橋の#4は相手のチェックを物ともせず3P、ミドルをきっちり決める。残り3分07秒ターンオーバーから走られて63-49と再びリードを広げられた正智深谷がタイムアウト。その後も正智深谷は#6がインサイドを決めれば、市立船橋は#4がお返しに3Pを決め69-58リードは変わらず。

最終ピリオド、速攻につなげる市立船橋とインアウトで得点する正智深谷。両チーム意地の戦いが続く。残り7分12秒正智深谷#6がインサイドでファウルを貰い、フリースローを決めて72-63と一桁に迫る。ここから反撃したい正智深谷だが、#4が4つ目のファウルでベンチに下がると息を吹き返した市立船橋が74-63としたところで正智深谷タイムアウト。その後のプレイで加算した正智深谷はオールコートに仕掛けるが、ここでも市立船橋#4がディフェンスを振り切る高速のレイアップとノーマークの3Pを決め残り4分02秒79-68、正智深谷タイムアウト。2-2ゾーンプレスから2-3ゾーンにした正智深谷だが、市立船橋も慌てない。#4がこの日6本目となる3Pを決め突き放すと、ここから#5、#7が続いて3Pを決めゲームを決定づける。#4を戻しマンツーマンに戻した正智深谷だったが、最後は市立船橋のシュート力に力尽き94-70で市立船橋が関東大会二連覇を果たした。

両チーム持ち味を出し切った中で優勝した市立船橋の組織力と洗練された攻守の力が、激しいディフェンスを武器にする正智深谷を上回った決勝戦にふさわしい好ゲームであった。